



学校と家庭で行うこと

緊急事態宣言が延長され、慎重に学校生活を過ごしています。長浜市の状況を踏まえ、運動会に向けての準備や練習も始めました。運動会では、児童が考えた「みんながまった運動会！練習のせいかをここで出せ！！」をスローガンに掲げ、練習を積み重ねた子どもたち一人一人の成長した姿をご覧いただきたいと思います。

現在、1学期の学校評価をもとに、子どもたちの学力向上に向け、全教職員が一丸となって取り組んでいます。この秋は、子どもの体験活動を重視しながら学習意欲を伸ばし、勉強に対する自信ややる気を育てる方法を検討する授業研究に取り組んでいきます。

先日、文部科学省の全国学力・学習状況調査で常にトップクラスの成績を維持している石川県・秋田県・福井県の取組を調べました。なぜ、常にトップクラスを維持しているのか、その要因は何なのか？次に挙げてみます。①教員の授業力向上に対する取組、②外部の組織や団体の働きかけと研究活動、③教員全体の共通理解に基づく熱心な学習指導、④児童・生徒の素直さとまじめさ、⑤家庭の安定と家庭の教育力、⑥勤勉で連帯感のある地域や風土。

これらの要因を見ると、学校に関係するものが半数、子どもや家庭・地域に関するものが半数であることがわかります。そして、伊香具小学校の強みとして当てはまるものもあり、本校の平均正答率が全国平均正答率を上回っているのもうなずけます。教員が授業研究に取り組み、子どもたちにとって楽しいわかる授業ができる力を身につけることはもちろん大切ですが、やはり、家庭と学校・地域社会がそれぞれの立場で誠実にやり遂げることが学力向上の基本だと考えます。朝食等の生活習慣、勉強や家庭学習に関する温かな会話など、引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

10月の行事予定

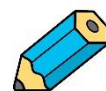
- 1日（金）全校朝会
- 7日（木）4・5・6年生 委員会活動
- 8日（金）3・4年生 防災かまどベンチ設置事業
運動会前日準備
- 9日（土）運動会（雨天順延）
- 11日（月）振替休業日
- 14日（木）4・5・6年生 クラブ活動
- 15日（金）ノーゲームデー ラブリィ・ブックデー
- 18日（月）学習参観（3校時） 教育相談日
- 20日（水）・21日（木）6年生 修学旅行（奈良方面）
- 26日（月）教職員研究会のため5校時まで 14:50 全校下校
- 27日（水）5年生 校外学習（名古屋市科学館・トヨタ会館）
- 28日（木）1・2年生 校外学習（ヤンマーミュージアム・鉄道スクエア）



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、時間・内容・参加者等を縮小しております。
保護者・ご家族のみの参観にご理解とご協力をお願いいたします。

※5年生 フローティングスクール 11月16日（火）

開かれた学校づくりに向けて②



保護者アンケート集計結果

※4段階評価を100点満点に換算したものと

No.	アンケート内容	R3 7月	R2 7月	R元 7月
1	「自ら学び、心豊かにたくましく生きる伊香貝っ子の育成」がなされているか。	86	83	85
2	教育方針や教育活動をわかりやすく伝えているか。	87	83	88
3	特色ある教育活動を進めているか。	88	85	88
4	子どもの体力は向上しているか。	85	78	75
5	地域の歴史・自然・福祉施設や伝統文化などを大切にして、子どもに学ばせているか。	87	83	88
6	家庭や地域の方などに挨拶ができていますか。	80	73	80
7	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できているか。	77	73	73
8	登下校に対して、安全への配慮ができていますか。	86	83	80
9	自他の命を大切にする態度を育て、指導ができていますか。	87	85	85
10	けがや病気などへの学校の対応と指導はできていますか。	88	88	90
11	子どもは学校へ行くのを楽しみにしているか。	89	85	85
12	縦割り活動は活発に行われているか。	91	90	88
13	子どもたちに自信をつけさせるような取り組みをしているか。	85	83	85
14	一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる教育活動を行っているか。	85	85	85
15	子どもたちは、授業が楽しくわかりやすいと言っているか。	82	83	80
16	子どもたちに基礎・基本の力はついているか。	80	80	80
17	子どもたちは、自分で進んで調べたり学習したりしているか。	79	80	75
18	子どもたちには家庭学習の習慣が身についているか。	82	80	75
19	教職員は熱意をもって子どもにわかりやすい授業を行っているか。	86	85	83
20	教職員は、豊かな心をもつ子どもを育てようとしているか。	87	85	85
21	教職員は子どもをよく理解してくれているか。	87	85	85
22	家庭学習に対する学校の指導や支援はできていますか。	83	80	80
23	教職員の接客、言葉遣い、電話での対応、服装などは教師として適切か。	88	90	88
24	保護者や地域の方々の声は、学校運営に十分反映されているか。	84	78	83
25	教職員は保護者や地域の方々と交流を深め、開かれた学校づくりを進めているか。	88	80	83
26	保護者や祖父母の参観授業の内容は適切であるか。	85	85	85
27	学校行事やPTA活動は、家庭や地域住民が参加しやすい行事になっているか。	87	80	83
28	学校日より（学校報・PTA広報）や学級通信、事務連絡等は適切であるか。	86	88	88

学校評価からみた成果と課題



保護者アンケートでは、コロナ禍にあっても28項目中19項目で過去2年より数値が上昇しており、子どもたちが楽しいと思える学校づくり、豊かな心を育てる学校づくり、地域に開かれた学校づくりにご理解をいただいていることを、うれしく感じています。ご支援に感謝いたします。

しかし、15～18・22の学習に関する項目の評価が、全体の中では低い数値となっています。このことは、教職員の自己評価とも一致しています。1学期の指導を振り返り、子どもたちの学習意欲をさらに向上させる、よくわかる楽しい授業づくりに力を注いでいかなければならないと考えています。授業は、学力を身につける場だけではなく、社会性を育てたり、人間関係を形成したり、子どものよさを伸ばす場でもあります。したがって、よい学級経営は、よい授業につながります。子どもたちの「わかる楽しさ」と「できた喜び」を引き出し、子どもたちの学力を高めます。学習課題をはっきりさせ、主体的な学びの場、話し合い活動の場、理解したことをまとめる場を明確にしていきたいと思います。また、機関指導での声かけや全体への話しかけ、まなざしなどにも留意し、一人一人を大切にしたい授業を構築していきたいと思います。

まだまだwithコロナの日々が続くと思われれます。「今こそ教職員が頑張らないと」という思いを強く持って、課題解消に向けて全力で取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。